

何度も何度も防災の話を聞き、訓練にも参加し、災害の映像もいっぱい見ているけれど、実際にその時がきて、その場面に遭遇したらと考えると、やはり恐ろしいなと思います。

## 緊急避難場所と避難所

### 緊急避難場所

災害等の危険から身の安全を確保するために避難する場所

### 避難所

災害等が原因で自宅が倒壊や滅失してしまったことで自宅生活が困難となった方が一時的に生活する場所。

つまり、いつも訓練で皆さんが集まっている第一次避難所は実は緊急避難場所です。そして、泉小学校グラウンドも、緊急避難場所です。泉小学校の体育館が、避難所として開設され、自宅生活が困難となった方は、そこで生活を送ることとなります。

## 避難所運営



では、その避難所は誰が運営するのでしょうか。

浜松市避難所運営マニュアルにおいては、避難者の自主運営を原則とする、とあります。

避難者が中心となって避難所運営委員会を立ち上げ、この委員会の組織的な活動によって避難所は運営されます。

しかし、災害が発生して、避難者たちがすぐにそんな組織を立ち上げることは不可能です。

避難所運営委員会を立ち上げるまでは自主防災隊、地区防災班員、施設管理者等がサポートすることになります。

和合町自主防災隊では、7月25日馬生会館にて避難所運営に関する訓練を、自主防災隊役員を対象に行い、自主防災隊の各部が避難所運営を実際に行うことを想定し、どの部分をどのようにサポートするかということ、マニュアルを見ながら確認し、その後実践訓練を行いました。実際に災害が起こってすぐに自分達役員だけでスムーズに避難所を立ち上げ運営するのはとても大変だなと感じました。

自主防災隊の組織は和合町の住民みんなの力で成り立つもので、役員だけの力ではとても無理です。避難所は、みんなの協力があって初めてうまく運営されていきます。

防災についてひとりひとりが、まず自分のこととして考えておく必要があります。

そして日頃から、協力し合える地域を作っていくことが大切です。